

アフリカ子どもの本プロジェクト(JACBOP) 2018 年度活動報告

1、概況

私たち「アフリカ子どもの本プロジェクト」も、結成 15 年目を迎えました。毎月定例の運営会では、ドリームライブラリー（ケニア西部で始めた子ども図書館）のことや、お薦め本の選定など、さまざまなことについて話し合っています。2018 年度は、ブログやフェイスブックや HP に加え、インスタグラムでの発信も始めました。また、早稲田奉仕園の場をお借りして、「アフリカを読む 知る 楽しむ子どもの本展」を開催し、いくつかのイベントも行い、大勢の方に、アフリカの文化や私たちの活動に関心を持っていただくことができました。

ケニア西部のエンザロとシャンダにあるドリームライブラリーについては、新聞が届かないなどの問題も解消され、順調に運営されていますが、シャンダの方からは、開館日を増やすのでライブラリアンのお給料を上げてほしいといった要望も出ています。またケニアでは教科書が改訂になったそうで、最新の教科書を入れてほしいとの希望も両館から寄せられています。現地とのコミュニケーションやライブラリアンへのお給料の振り込みなどについては、京都大学の松田素二先生や、先生のお仲間のオディンガさんから引きつづき多大なるご協力をいただいています。

ケニア以外のアフリカへの図書支援については、ルワンダの青年海外協力隊の方から要請があり、2018 年 7 月に 95 冊の英語の子ども本を送りましたが、届きませんでした。そこで 2019 年 2 月に今度は追跡できるようにして 13 冊送りましたが、今度は届いたとのことホッとしています。アフリカへの送本は送料がとても高いので、どのようにすればいちばんいいのか、これからも考えていきたいと思えます。

支援グッズは、新たに絵ハガキを作成し、布バッグ、マスキングテープと共に、販売中です。売上げはすべてアフリカの子どものために使われます。

事務局員がいないので、すべてボランティアによる活動ですが、今後どうぞ見守っていただければ幸いです。

2、会員数

2017 年度末の会員数は 115 名、2018 年度末は 113 名でした。

3、2018 年度活動報告(2018.4-2019.3)

3-1 運営会の開催

毎月 1 回運営会を持ち、アフリカへの支援、選書や図書展、イベント等の打ち合わせを行いました。

3-2 ドリームライブラリー等の支援

1) ケニアのドリームライブラリーについて (写真①)

ケニア西部のエンザロとシャンダにある二つのドリームライブラリー（子ども図書館）を支えることは、私たちのプロジェクトの三つの柱の一つです。現地にしょっちゅう行くことができないため、京都大学の松田素二先生が、研究フィールドにおいでになるついでに見てきてくださったり、先生のお仲間のオディンガさんに連絡係としてご協力をいただいたりしています。みなさんの会費から、毎月ライブラリアンのピーターさん（エンザロ）に 10,000 シリング、アイリーンさん（シャンダ、開館日が少ない）に 5,000 シリング、両方の図書館に新聞購読料として 1,860 シリングをお渡ししています。シャンダにある図書館については、2019 年度から開館日を増やし、ライブラリアンのお給料も 8,000 シリングに上げる予定です。そのほか、新聞販売店が近くにないエンザロについては、新聞配達交通費として最初は月 1,000 シリング、1 月から

1,500 シリングをお渡ししています。また、ケニアでの連絡係や給料の支払いを担当してくださっているオディンガさんには交通費や払込の手数料として毎月 2,000 シリングをお渡ししています。現在のレートだと 1 円が約 0.9 シリングになります。新聞は主にコミュニティの大人のためですが、曜日によっては子どものページも掲載されています。新聞を読みに来た大人が、子どもたちが本を喜んで見たり読んだりしているのを見て、図書館の重要性に気づいてくれるといいな、という思いもあります。2018 年度は両館とも、新聞はきちんと届いていました。

2004 年に設立したエンザロ・ドリームライブラリーは、現在、週に全日 5 日+半日 1 日開館しています。2008 年に設立したシャンダ・ドリームライブラリーは、週に全日 3 日+半日 1 日開館しています。

またそれぞれの図書館についていろいろな話し合いをするために、地元では折に触れ図書館委員会が開かれています。遠くから通ってくる委員や、仕事を休んで参加する委員もいるので、お茶菓子代として、図書館委員会が開催されるごとに 2,000 シリングを援助しています。現地からのレポートでは、エンザロ図書館は 2 回、シャンダ図書館は 4 回、図書館委員会が開かれました。

両図書館の建物や備品の修理なども必要ですが、2018 年度は、エンザロ図書館には壁を白く塗る工事に 17,100 シリング、シャンダの図書館には補強工事費として 10,000 シリング、壁の補修費として 20,000 シリングを送金しました。

2018 年度のドリームライブラリーの利用状況は以下のとおりです。

エンザロ・ドリームライブラリー

利用者別人数 (単位:人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	386	420	417	439	525	446	520	527	481	423	339	247	5170
51 プライマリー生徒	395	357	375	425	569	449	503	750	382	546	360	267	5378
セカンダリー生徒	224	208	272	221	345	280	326	466	337	407	249	126	3461
おとな	186	308	338	363	563	448	566	704	656	600	450	467	5649
合計	1191	1293	1402	1448	2002	1623	1915	2447	1856	1976	1398	1107	19658
開館日数(単位:日)	21	24	25	27	25	26	25	26	27	26	26	24	302

シャンダ・ドリームライブラリー

利用者別人数 (単位:人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	101	20	51	25	38	102	210	52	104	110	50	51	914
プライマリー生徒	1221	1802	1820	910	1250	1210	1501	1610	1692	1722	510	433	15681
セカンダリー生徒	50	50	62	210	41	211	220	321	57	201	210	120	1753
おとな	22	55	65	101	200	15	60	65	72	67	9	22	753
合計	1394	1927	1998	1246	1529	1538	1991	2048	1925	2100	779	626	19101
開館日数(単位:日)	18	16	17	18	17	18	17	18	18	14	16	16	203

2) アフリカへのその他の支援 (写真⑤)

青年海外協力隊員としてルワンダで活動している園田理沙さんから、2018年6月に本の寄贈依頼がありました。園田さんは、ムサンゼ郡の村の小学校と小さな私設図書館の支援をしていますが、ルワンダでは5年前に公用語をフランス語から英語に切り替えたばかりで、現地の子どもたちの英語力で楽しめる絵本がほとんど無いそうです。寄贈が実現すれば、図書館2館と公立中学校1校で活用するとのことでした。

さっそく英語で書かれた絵本、科学の本、日本を紹介する本などを会員の佐藤、ほそえが選んで購入し、会員の馳平からの寄贈図書やネットで購入した本を加えた95冊にブッカーをかけたリシールを貼ったりしたもの、特別郵袋印刷物の航空便で7月23日に送り出しました(送料33,200円)。けれども、この時の荷物は何等かの事情で残念ながら現地に届きませんでした。そこで今度は冊数を13冊にしぼり、やはり装備をしたうえで、紛失した場合に追跡可能な国際書留郵便の航空便で2月5日に小さな箱一つを発送しました(送料7,660円)。やはり日にちが随分かかりましたが、ようやく3月中旬に園田さんの元に届いたそうです。

3-3 アフリカのことを知らせる活動

1) 講演「日本とアフリカを子どもの本でつなぐ」(写真②)

代表のさくまが、5月22日(土)に、上智大学四谷キャンパスで講演しました。アフリカデー(1963年のアフリカ統一機構創設を記念した日)に合わせて、5月14日から25日に行われた「学生とともにアフリカ理解を深める」の一環として開催されたものです。学生さん、一般の方々に来ていただきました。

アフリカ子どもの本プロジェクトのこと、ドリームライブラリーのように、なぜアフリカについての子どもの本を訳しているのか、声の文化と文字の文化などなど、さまざまなお話が繰り広げられました。

アフリカに詳しい方々もいらしてくださり、アフリカ子どもの本プロジェクトがどのような眼差しをもってアフリカという国とつながっているのか、またいきたいのか、その他さまざまな質問が出て盛況でした。

2) 早稲田奉仕園イベント(写真③)

装丁家の桂川潤氏のご紹介で、図書展と代表さくまの講演会が開催されました。プロジェクト主催のため、設営、会期中の会場当番、撤収は、すべてメンバーが行いました。

①「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」

日時：11月16日(金)～11月21日(水) 12:00～19:00

会場：早稲田奉仕園スコットホールギャラリー

これを機に、資料パネル2枚のデータを新しくして、扱いやすいタペストリー型に作り直しました。

東京都の歴史的建造物である煉瓦造りの会場にマッチして、素敵な図書展になりました。6日間で、芳名録に署名してくださった方は114名。グッズの販売も好調でした。

②講演会「アフリカと日本と～子どもの本から見えてくるもの」

会場：早稲田奉仕園2階会議室

日時：11月17日(土) 19:00～20:30

講師：さくまゆみこ 聞き手：桂川潤氏(装丁家)

桂川さんが聞き手を、代表さくまとアフリカとのかかわり、子どもの本のことなど、多岐にわたるお話がきけました。

3-4 「アフリカに関する児童書 おすすめリスト」の選書

・ホームページの「おすすめの本」コーナー、「おすすめの本リストPDF」には、2018年10月までに選んだ本が入っています。

・今後もホームページの「おすすめの本」コーナーに、新しい推薦本の書誌を追加する作業をすすめます。

・「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」の展示本は、新しい本を中心に120冊程度に調整していますが、ホームページにはこれまで選んだ推薦本全点を掲載しています。

*11月の早稲田奉仕園での図書展を機に、新規にリストに入れた8冊の解題を分担して執筆しました。

*2018年度、選書会は8回開催。

17冊検討し、5冊をリストに入れることにしました。

*今年度、初めて、グラフィックノベル、漫画をリストに入れることにしました。

2018年

5月 3冊検討。

6月 3冊検討。2冊リストに入れる。

- ・『お話は土の城のテラスで—西アフリカ・トーゴの昔話集』和田正平著 メディアアイランド 2016.11
- ・『チトくんとにぎやかないちば』アティヌーク文 アンジェラ・ブルックスバンク絵 さくまゆみこ訳 徳間書店 2018.03.13 (西アフリカ)

7月 1冊検討。

9月 2冊検討。1冊リストに入れる。

- ・『ライオンの風をみたいちにち』あべ弘士作 佼成出版社 2018.09
シリーズの4作目だが、おもしろい。すでにシリーズの1冊を推薦しているので、そこでまとめて紹介する(ウェブでは別個に紹介)。

10月 早稲田奉仕園での展示のために、リストに追加される8冊解題を分担して書く。

12月 3冊検討。1冊リストに入れる。

- ・『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』星野ルネ著 毎日新聞出版

2月 1冊検討。

3月 4冊検討。1冊リストに入れる。

- ・『マッドジャーマンズ：ドイツ移民物語』(ビルギット・ヴァイエ著 山口侑紀訳 花伝社 2017.10)

3-5 支援グッズの製作・販売(写真④)

会員の竹中マユミが中心になって、絵はがき(5枚セット)を作成しました。トートバッグ、マスキングテープ、Tシャツ、『エンザロ村のかまど』スワヒリ語版、英語版等と合わせて、11月の早稲田奉仕園でのイベントで販売しました。

年会費の納入の際、ぜひ合わせてご購入いただき、ご支援ください。

3-6 ホームページの更新

ホームページ<http://africa-kodomo.com/>では、ブログページで定例会の様子や日常のご報告を、お知らせページで展示や会員関連の講演情報などもお伝えしますのでご覧ください。

他にインターネットでは、メールによるプロジェクト・ニュース配信と、フェイスブック(<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>)、Instagram(https://www.instagram.com/africa_kodomo/)を利用して情報発信を実施しています。

フェイスブックページでは、2019年4月20日現在、「いいね!」をクリックして下さった方は398名、Instagramではフォロワーが87名います。ホームページとのリンクを含め、今後もホームページとフェイスブックの内容を充実していきます。

3-7 「プロジェクト・ニュース JACBOP NEWS」の発信

電子メールを使って、運営会の報告、新会員の紹介、ケニアのドリームライブラリーの様子その他を会員向けに随時発信しました。

4、2018年度決算報告(2018.4.1～2019.3.31)

5、2019年度予算(2019.4.1～2020.3.31)

連絡先

アフリカ子どもの本プロジェクト

〒177-0042 東京都練馬区下石神井1-4-4 さくま方

メールアドレス：amai_3@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://africa-kodomo.com>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>

インスタグラム：https://www.instagram.com/africa_kodomo/